

疫学研究に関する情報公開

福島県立医科大学総合周産期母子医療センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年5月 福島県立医科大学総合周産期母子医療センター
部長 細矢 光亮

【研究課題名】小児期感染症の病原体に対する母体と臍帯血の抗体価と周産期因子の関連性について（エコチル追加調査）

【研究期間】 平成27年4月～令和7年3月

【研究の意義・目的】小児の感染症の原因には、さまざまなウイルスや細菌が関与しています。特に、新生児や乳児は、免疫力が弱く病態が重症化（入院期間の長期化や治療抵抗性など）することも多く注意が必要です。

本研究では平成25年6月～平成26年11月に出産された妊婦さんとその赤ちゃんを対象として、エコチル調査でご協力いただきました試料をもとに、妊婦さんとその赤ちゃんがウイルスや細菌に対する免疫（抗体）をどの程度もっているのかを明らかにしたいと考えています。妊婦さんの免疫（抗体）を測定することで、新生児や乳児に発症する感染症との関連を知ることができ、子ども達の感染症の発症予防や重症化の予防に貢献できると考えます。

【研究の方法】

エコチル調査の参加者から採血された血液と出産時に採取された臍帯血の残検体を使用して、ウイルスや細菌などの病原体に対する抗体価を測定します。母体がどれくらい抗体を持っているか、母体と新生児の抗体価の関係、週数により新生児の抗体価が変化するかなど、母体と新生児での抗体価について調査します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者 （所属）総合周産期母子医療センター（職）部長（氏名）細矢光亮
研究分担者 （所属）小児科学講座（職）准教授（氏名）橋本浩一
小児科学講座（職）准教授（氏名）佐藤晶論
小児科学講座（職）助手（氏名）佐藤晶子
総合周産期母子医療センター（職）教授（氏名）桃井伸緒
総合周産期母子医療センター（職）講師（氏名）佐藤真紀
小児科学講座（職）大学院生（氏名）知識美奈
小児科学講座（職）大学院生（氏名）岡部永生

【人体から採取された試料等の利用について】（※）該当ある場合のみ記載

エコチル調査のために採血された血液から血清を分離し、保存してある残検体を使用し、血清中の様々な病原体に対する抗体価の測定を行います。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学 小児科学講座
担当 岡部 永生
電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578
E-mail:hisa1988@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係
電話:024-547-1007 FAX: 024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学 医療研究推進課 委員会係
電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991
E-mail:rs@fmu.ac.jp